

# 令和4年度 自己評価結果公表シート

すみれ幼稚園

## 1、本園の教育目標

子ども達一人一人が楽しみながら思考力を高め、創造力や判断力を培う事につとめ、絵画・音楽教育、基礎的な体力づくり等の充実した保育内容で「明るいすなおな子ども」に育っていくよう日々保育に取り組む。

### 本園の教育目標

- 1、明るい豊かな心をもった子ども
- 2、「ありがとう」とすなおな心をもった子ども
- 3、どんなことにも負けない我慢強い子ども

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

園の教育理念、教育方針のもと、その教育目標に沿った自己標目に従って 自己点検、自己評価をすることにより、保育者自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
こどもの良さを認めて評価しようとしている。	子どもたちが自分の意志で行動できるように関わってきた中で、ゆったりとした環境で遊ぶことの大切さや面白さに気付くことができた。異年齢保育を通して子どもたちは
規則正しい生活習慣を身につけ自立心、我慢する心を養う。	異年齢保育を通して子どもたちは、より多くの経験を得ることができている。子どもたちの様子を観察し、関わりをもつことでそれぞれの発達に応じた保育のねらいや環境の設定に取り組んだ。
保育者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	保護者からの意見も職員間で共有したり、次回の為の改善として取り入れている。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通理解を持ち、情報交換しながら取り組めるようになってきている。可能な限り子ども一人ひとりの主体な活動を保証していく保育のあり方について、理解を深めていく基礎が形成されてきている。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
様々な場面@での防災・安全・対策の充実	避難訓練を月 1 回実施する際に、様々な時間帯や場面を想定し、いつどんな時もどのような対応をすれば良いかということをも身につけていけるように工夫する。
特別支援教育の充実	現在、各所療育期間との連携が取れるように打ち合わせや会議などを行い、一人ひとりに合った保育及び配慮ができるように適宜行っている。 今後も引き続き、関係機関との連携を構築していけるように努めていく。
幼小接続	幼稚園と小学校との連携をとり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接点を図り、興味や関心につなげ、スムーズに就学できるようにする。

#### 6、学校関係者の評価

すべての行事を通常通りに開催していただき、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。一年間を通して、子どもの成長を感じ、親子共々充実した一年を過ごすことができました。ありがとうございました。

#### 7、財務状況

財務内容は安定しており、収支差額も前年度並みに推移している。この状況を保っていけば安心して施設経営を行うことができるであろう。そのためには魅力的な園にする努力を惜しまないことは言うまでもない。また、特別な支出が必要になった場合の資金準備などにも迅速に対応できるように心がけなければならない。